

## 魚津市新庁舎整備検討委員会 第4回会議 会議録（要旨）

### 【開催状況】

- 1 開催日時 令和5年8月24日（木）13：30～15：00
- 2 開催場所 魚津市役所2階 第1会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員  
浦田委員、大島委員、大野委員、木下委員、清水委員（会長）、野澤委員、西村委員、平田委員、山本委員、米澤委員
  - (2) 市  
副市長、総務部長、財政課長ほか事務局員
  - (3) コンサルタント  
株式会社 建設技術研究所
- 4 欠席者  
石川委員 吉森委員

### 【関連資料】

- 資料1 新庁舎整備に係る検討体制・スケジュールについて
- 資料2 庁内ワーキンググループの設置について
- 魚津市新庁舎整備に関するアンケートの実施について（案）

### 【会議内容】

- 1 開会
- 2 議題  
新庁舎整備に係る検討体制・スケジュールについて  
庁内ワーキンググループの設置について
- 3 その他  
新庁舎整備に関する市民アンケートの実施について
- 4 次回の会議日程ほか
- 5 閉会

## 【事務局】

資料1及び資料2について説明

### A委員

資料1の5ページ目、基本構想等の策定事項についてお尋ねをしたいと思います。ここに基本構想の策定と基本計画の策定について書いてあるのですが、その手前のところで基本構想では新庁舎整備の基本方針やコンセプト等を設定し、方向性を決定するというふうに書いてあります。

新庁舎整備の基本方針につきましては、すでに決定しているのですが、このところで、市の方が伝えたかったその意図といったものを詳しくお聞かせ願いたいと思います。

特に、新庁舎整備の基本方針やコンセプトを設定し、方向性を決定するといったところの具体的にどういったことを考えておられるのかというのを、もう少し詳しくお聞かせください。

### 委員長

ご説明していただいた根幹というか、本日は基本計画も含めて、基本構想を令和5年度と令和6年度の2年間かけて行う作業を、できるだけ皆様にご理解いただくということだと思います。コンセプト等、もう一度ご説明をお願いします。

### 事務局

基本方針は、昨年度にご議論いただき決定させていただきましたので、基本方針を考え直すという意味ではございません。基本方針は基本方針として定めさせていただいたところですが、今後、新庁舎整備にあたっては、もちろん皆様からご意見いただき決定した方針ではありますが、例えば、お子さんや20代みたいな若者ですとか、お父さん、お母さんの世代、あるいは高齢者の方々など、より多くの皆様から、例えば「新庁舎にはこういった機能が欲しいとか、こういったものが足りないよね。」ということを補強するようなイメージです。

仮に昨年の議論で足りないと言ったらおかしいですけども、そういった観点があるとなれば、そういった声もしっかり拾い上げたうえで、今後、整備していくにあたっての拠り所となり、土台となる部分が基本構想であると考えておりますので、よりしっかりと補強した上で基本構想を改めて整理するということなので、方針自体を変えるというものではございません。

### B委員

まず、10年後に建つとして、いったい何年この新しい新庁舎を利用する予定というイメージなのか？ と思っていて、前々からずっと来年に建つみたいな感じの考えが

すごく気になっているところです。実際に建つのは 10 年後じゃないですか？アンケートにしてもそうですが、こういう会議にしても 10 年後にどのような街になって、人口はどのぐらいで、税収はどのぐらいなのか、10 年後にどういった魚津市になっているのかというのは絶対にマスの考え方だと思いたいますが、それがこの資料にはどこにも載っていないです。そのため今の自分で判断してしまいます。

例えば、今私には子供がいますけども、実際に新庁舎が建った時に、もっとデジタル化が進んでいるだろうし、また全然違う未来になっているのに、基本構想から 10 年後に全然マッチしてないものになってしまうと思います。

その考え方を建つまでの 10 年後、それから何年間使うのか？ 100 年なのか、60 年なのか、そういうところを想定しながら考えていかなかったら、絶対に建った時にすでに古いものになってしまうのではないかなとすごく思います。

ずっと前からすごく気になっているのが、建設事業費が子供たちの負担になるのかわからないのか？ というのは市民全員が知っておくべきことだと思います。

例えば、私の子供が大人になった時に、魚津市だけ住民税が高い感じになったら、人口流出は避けられないと思います。そうやって庁舎だけがすごく立派で、でも、若者は周りに全然ないみたいになりかねないのではないかなと思うので、やっぱり事業費というのは、最初から基本構想で常に考えていくものじゃないのかと思っています。その事業費は、来年の 11 月ぐらいから考えるスケジュールになっているので、それだとすごく遅いと感じています。

この基本構想をこんな風にしようとなつて、事業費が 120 億円でスタートとなつたらそれでも突き進むのか？ もう 1 回やり直すのか？ 常に事業費は考えつつ、進んでいくものじゃないかなと思ったので、それについて説明をお願いいたします。

## 事務局

人口に関しましては、もう日本全国どこでもそうですけども、減少していくということは当然避けられないような流れになっていると思います。そういうことを考えますと、当然その将来、魚津市の人口が減れば、市の職員も減るといったことも考えられますので、今いる職員の人数というよりは今後、市の職員も減るであろうということも想定しながら考えていく必要があるともちろん思っています。そういった面は当然、念頭におきながら検討してまいりたいと思っております。

あと、財源に関してですが、昨年度の委員会で機械的に算出しました概算金額ではありますが 70 億円という金額を出させていただきました。魚津市の財政も潤沢というわけではございませんので、事業費の限度は当然あると思っています。

例えばこういったものが必要である、ああいったものが必要であると、積み上げた結果、例えば 100 億円になりました。じゃあ 100 億円でやりましょうということは当然にはならないと思っています。

建設にあたっては用意できる財源あるいはその場合によっては、7割程度は借金、つまり子供たちへの負担ということになりますので、そういったことも踏まえながら財源がどれくらい使えるか、潤沢ではないことを想定しながら考えていくことになります。そうなると、やりたいことをおそらく全部はできない可能性が高いです。市民の皆様のニーズが高いものを優先的にやっていくという考え方もありますので、全部やろうということをおお前提に検討を進めるわけではありません。

#### B委員

基本構想で膨らませておいて、120億円になります。それでは、どうするかとなると効率が悪くないですか？ 未来の子どもたちの負担って言ったじゃないですか。そうしたらきっと子供の流出、子育て世代の流出は本当に止まらないと思います。そこは、本当に真剣に考えないといけないことかなと思います。

先ほども言いましたけども、立派な市役所がある。でも若者はみんな周りの市、町に住んでいるということに本当になってしまおうと思いますので、そこは結構真剣に考えてほしいです。

#### 副市長

今ほどの意見は、もっともだと思います。全国的な話でございますが、国全体では、もう1,000兆円以上の借金があるわけでございます、国民1人当たり800万円の借金があるというふうにも言われております。他の市町村を見ましても、全部借金は抱えておるところでございます。ですからどこへ出て行かれても、借金のツケは残っているという状況は今後も継続していきます。全くの黒字というような市町村というのは東京の方のいくつかしかないのでございまして、地方の方は軒並み赤字でございます。

その中で、いかに負担を少なく、かつ効率の良い市民の皆さんに喜んでもらえるものを造れるかという意味を持ちまして、この基本構想そのものを作っていくわけでございます。今年度、来年度の2か年で、新庁舎整備基本構想、基本計画を策定し、その次に新庁舎の基本設計、実施設計をして、4年後あたりには工事にかかるわけでございます。その時点で一番最先端の時代にあった形のものを造ることも考えておりますし、できるだけ今言われたような点については、十分留意しながら進めていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いしたいと思っております。

#### C委員

基本設計ができた時点で開示していただけますか？ みんなの意見を聞いた上で、基本設計ができますよね。設計事務所さんが設計図を作られます。設計図は、市民のいろんな意見を集約して作られるのだらうと思いますけど、その設計図を我々ができた時点で開示していただけますか？

#### 副市長

令和6年度に策定する基本計画でどのような機能が必要で、どのようなものを作ろうというのは大体できます。その次の基本設計、実施設計は、それを作るのにどれくらいのコストが必要となるのかというような設計をいたします。ですから、この令和6年度の時点である程度、どのようなものができるのかというのは当然決まっています。

それを見て、皆様方からご意見を聞きながら修正していくという考え方です。ですから、最終設計じゃなくて途中の段階で皆さんに見ていただき、さらに課題を生み出し、多方面から意見をいただいて決定していくという流れになります。

#### C委員

だいたいのイメージパースですね。細かいものや分厚いものは見られるわけではないので、その題材のモデル図や各フロアの図面等というのは見せていただけますか。

#### 事務局（株式会社 建設技術研究所）

今回の基本計画の段階の具体的な作業のイメージですけれども、アンケート、それからワークショップ、市役所の各課の職員の皆様とも意見交換をしながら、本当に必要な大きさ、それから将来的な人口推計も、きちんと参考にさせていただき、適切な規模の設定をしまして、大まかなゾーニングやどういう配置が良いのかということや、また、今回課題としては今の分散している庁舎を複合化するかどうかというような検討もこれからします。それによって最終的な実際の具体的な大きさのイメージというものも作りますので、そうしたレベルの図面をお作りして、それを一度、委員会の中でも見ていただく機会を設けながら進めさせていただければと思っています。

#### 委員長

今年度から2年かけて基本構想や基本計画そのものを策定していきまして、案の段階で行政側とキャッチボールも含めて、その都度この委員会でもって皆様にお伝えします。そして、ご質問もその都度させていただくということで進めていきたいと思っております。その後令和7年度から基本設計に入っていくということです。

それから、工事に入って令和11年度にはもう供用が開始されますので、6年後には建っていて10年は超えないスケジュールで進んでいます。

#### D委員

資料1の中の7ページに新庁舎整備検討スケジュールということで、第4回の委員会は本日です。それから、第5回については年度内に開催するということは、この検討委員会そのものは、年に2回開催される予定だということですか。

#### 事務局

検討委員会につきましては、本日を含めて最低3回開催させていただく予定ですが、最後の予定の3月の前に1回なのか2回なのか、それは状況に応じて皆様のスケジュールも伺いながら開催していきたいと思っております。

#### D委員

わかりました。その前提でお聞きしますが、庁内のワーキンググループ、それから庁内の検討会議が開催されることになるとは思いますけど、これらの情報というのはどういう検討がされたのか、その内容については我々委員にはどこかで開示してもらうタイミングはありますよね？

この検討委員会の場合でないと、それが出てこないということなのか、その前に何かそういう庁内の検討状況を開示いただけるタイミングがあるのか、そこをお聞きします。

#### 副市長

庁内の意見については、まとめ方によりますがまとめた段階で、その直後の検討委員会でお示ししたいと思っています。資料は事前にお渡ししますが、まとめるのも結構時間がかかるので、開示のタイミングはその時点になるとは思います。

#### D委員

この庁内の検討会議というのは、あくまで行政の皆様の検討会議ですよね？

例えば、検討会議の中で出てきたいろんな意見であるとか、アンケートや市民のいろんな視点であるとか、そういったものがどういう形で盛り込んでいかれるのかということ。

行政の方々の目で見たと時のいろいろな課題と、それから実際に市民の方々から見たときの課題とは違うと思うので、整合性、擦り合わせみたいなものをしておかないと庁内だけで進められると、まずいのではないのかなと思いましたのでお聞きしました。

#### 事務局

庁内だけで進めようとは考えておりませんので、お示しするタイミングが必要であれば、3回と言っていますが、皆様次第ではありますが、回数を増やしていくことも可能なので、できるだけ検討内容を皆さんにお示ししながら前に進んでいきたいと思っています。

#### D委員

先ほど財政の関係で話が出たとおり、今とんでもない金額の膨らみ方をしているので、そこを慎重にやっつけていかないと、こういったものがあればいいとかという話につなげ

ていくと、たぶん当初の設計と全く違う金額になるだろうと思います。

今、私が聞いているのは、例えば当時 70 億円で設定したものが今同じことをやろうとすれば、1.5 倍程見ておかないとだめだと建設業界の方から聞いていますが、それくらい半端じゃない膨らみ方ということだと思います。

後ろで建設技術研究所の方が頷いておられますが、多分、それが実態だと思いますので、先ほど B 委員が言われたのも、ごもっともなご意見だと私も思います。

そういうことを前提に、情報をやはり開示していただかないと何が行われているか分からないことになるのだけは、本当に避けていかないと考えているので、よろしくお願いいたします。

#### 委員長

前半の部分は、資料 2 の最後のページに検討の進め方、イメージの中で市民の方々の意見をどう取り組んでいくか庁内ワーキンググループで検討を行い、新庁舎整備室で取りまとめ、さらに、庁内検討会議で取り組むための審議をしていただいて、この委員会に上がってくるという一方通行の矢印が出ていますが、こちらは、実は、行政側とキャッチボールをする、行ったり来たりするというイメージです。

費用に関しては昨年度に 3 回ほどこの委員会が開催されて、その時に比較的に見通しが持てそうだなというのを財政の方から説明していただいています。

当初の予定でしたら、本当に 1.5 倍、そういうのを想定していろいろ行政側にご説明していただいた経緯があります。

#### E 委員

アンケートの実施の仕方について教えていただきたいのですが、今朝この会議に参加するにあたり若者の意見も聞いておこうと思って自分の子供に事前にいただいた資料のアンケートを見せて、これってどう思うか？と聞いてみたのですが、すると、そもそも新庁舎になるということ自体知らないと言ったんです。また、魚津市は本当に新庁舎を建てて大丈夫なのか？ということも言っていました。

せっかく実施するならば、市民の意見一つ一つ活かしていただきたいので、どういうやり方を考えておられるのかを説明していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### 委員長

次第の「その他」に関するご発言だったので、事務局から市民アンケートの実施について説明してください。

## 【事務局】

### 新庁舎整備に関する市民アンケートの実施について説明

#### A委員

一点、提案になりますが、会社においてアンケートに教えてくださいとメールがあります。そういったメールの中で私がよく答えているのは何だろうと思ったのですが、サンプルであることや、もう1つは回答時間が書いてあるものなので、想定の手戻時間というものを書いていただけると非常にありがたいと思います。

見る前にアンケートを始めたら実は30問ぐらいありまして、質問して聞いてくることが多いと思いつつ途中でやめ、アンケートを回答しない事が結構あります。ですので、具体的にアンケートが何問ぐらいあって、想定時間としては何分で一般的に回答が完了するというものがわかると、アンケートの回収率が上がるのではないかなと思いました。

それと、本庁舎でアンケートを取られる際に、入り口の方に置いておくということもあると思いますが、ぜひ窓口に来られた方にアンケートをやっていますということをお伝えし、2分とかで簡単に回答できますなど、誘導していただく形をお願いできればと思っています。よろしくお願いします。

#### C委員

アンケートですけど、魚津市のLINEがありますよね。LINEのところからも、アンケートを応募したらいいかなと思います。よくゴミのことにしても、何にしても魚津市の方から今日は回収日です等、いろいろなものが入ってきますよね。その中にLINEの中にアンケートを設定して、それで何分ぐらいですよっていうふうに入れると、もう少しアンケートが取れると思います。

#### 事務局

ありがとうございます。まずA委員からご提案いただいた想定時間については、前向きに考えたいと思います。あと、市役所にお越しになった方々に窓口での誘導ということもぜひやりたいと思います。

最後LINEに関しては、我々の方も検討しておりましたが、そのLINEを扱っている担当課に相談したところ、魚津市の発信として、このアンケートみたいものは難しいのではないかとのことでした。なぜかというところ、魚津市からの大事な情報発信としていろんな情報が来て嫌だということで拒否される方がいらっしゃるということです。

現在のところは、このアンケートについては、LINEに入れることは難しいと回答をもらっているところでございます。

### C委員

強制的にアンケートってするものではなくて、そのアンケートがありますというところをクリックした人だけがアンケートに答えるものなので、別に強制ではないからいいのかと思いましたが。

### 副市長

アンケートをやっていますとのお知らせは可能だと思います。問題は、回答も併せてLINE でやるというのは、どうなのかということになります。

お知らせは、LINE の他にいろいろな情報発信のツールもありますので、それらを活用してアンケート実施のお知らせをしていきたいと思います。LINE も可能であれば進めていきたいところですが、今のところ難しいので、また検討させてください。

### A委員

先ほどE委員がおっしゃった件ですけども、子供が今どう感じているかっていうことも、こちらのアンケートを見ていると、中学生から一応、統計的には情報回収するといったことになっていたと思います。

やはりこれから6年後は、今の子供たちが社会人になって、市役所を利用する機会が増えるタイミングとなると思われて、やはり中学生の高学年3年生だったりとか、高校生だったりとかだと思っんですね。こういった市のことを考えるというのも非常に良い機会だと思うので、ぜひ、中学生や高校生とかに、こういう新庁舎に関するアンケートをしていくんだよ、ということを広めていただいて、考える機会とともに若い世代の方たちがこれからどのような行政の手続きや行政と向き合っていくのかっていうことも考えてもらうきっかけになればいいと思いましたので、ちょっと発言させていただきました。

### B委員

アンケートは、市民からの回答をどのぐらいを想定していますか？正直、私は、これをやるかなと思ってしまいました。語弊がありますが、やっぱり年齢の高い人とかは積極的にやると思います。

ただ、私たち子育てをしている人たちは、なかなかやらないと思うと、市民の考えは、なかなか分からないような気がしています。

ただやるのではなくて、何パーセントぐらいは来たというような目標設定をしてもらい、ただ作って投げただけではなくて、回答してもらうような努力をしてもらいたいと思います。

私が想定する感じだと、若い世代がそもそも少ないし、ただでさえこういうアンケートをしない若い世代の人たちと、お年寄りの方たちと比べると、若い世代がすごく少な

いことになる、どうしても年齢が高い方の人たちの意見がすごくアンケートでは出てしまうのではないかなと思っています。やっぱり若い世代が今後、この市役所を使っていくとなるとその人たちの意見というのは、すごく大事だと思うところです。

どのくらいアンケートを答えてくれるかはわかりませんが、小学校全部に配布するとか、あとは、中学校にも配布したりしてはどうかと思います。

A委員が言われた意見は、まさに私も同感で、中学生の授業にすごくいいのではないかなと思っています、今後、愛着を持つという意味でも、ぜひ、中学校でワークショップをやったりして教育に取り入れるとみんな考えるきっかけになると思いました。

#### 副市長

アンケートについてご意見いただきました。

市で統計調査をやるときには、だいたい2,000人や1,000人に調査票を出して、その内5割から回答してもらえればいいというような感じです。2,000人出して1,000人からの回答があればアンケートの統計としては成立しているということになりますが、今回は、特殊なこともありますし、今ほどおっしゃいました、小中学生にも、全員幸いなことにタブレットを持っておりますので、それを活用しながら何とか皆さんの意見も吸い上げられないか検討していきたいと思います。

#### 委員長

生徒さんのアンケートの意見を吸い上げていただくのも大事で、皆様のところ集約されたご意見をこの委員会でご披露頂ければと思います。

#### F委員

アンケートの話は皆さん方でよろしく願いますけども、根本的なことでちょっとお願いをしておきます。庁内検討会議で検討されるということなので、こういう仕事っていうのは、現場で働いている人が一番よくわかっています。はっきり申し上げます。これは自負してください。実際、皆さん方が課を異動しながら、何十年間勤務されて、こうだったらいいのにとか将来のことを思ったりしているので、現場の方が一番よくわかっています。だからあまり言いたくはないけれども、予算はどうだとかこうだとかは後回しにして、こういうものがあつたらいいとか、こういう風にすべきだとかっていう意見を十分に議論していただきたいと思います。

私らは外から見たってわからないですよ。意見を議論の中で揉みに揉んで出していた、あと予算等を検討しながらやるか、やらないかという方向になりますので。

最初に予算を示すのは必要だろうとは思いますが。

時代はどう変わるかわかりません。10年先のことはわかりません、はっきり申し上げて。じゃあ昔この庁舎建てる時にインターネットありましたか？ 無線LANありまし

たか？

時代は変わっていきますけども、皆さん方がプロだから本当に庁内でよく議論して、こういう風な仕事しやすい庁舎の方がいいのにとというようなところをよく議論された方がいいと思います。

あとは我々が、またそういうのはダメだって言うかもしれませんが、出し尽くして、そしてアンケートで来る意見もよく読んで、参考にさせていただいて反映する。ここが大事だと思います。前は 50 億円でやって今は 70 億円、もちろんかかるとは思います。実際もう 2、3 年も経ってもっと上がっているかもしれません。じゃあ上がっているから小さくするのか。そこはもっと議論するべきだと思います。やらなきゃならないことは、いろいろな手立てを使ってもやらなきゃダメ。後悔しますよ。

その後、また分庁舎を造るような羽目になります。建物は、組織が変わってでもいろいろな間仕切りに変えられますか？それから職員の数が増えることも想定されていますけど、そういういろんな事をよく検討していただきたいと思います。具体的には申し上げませんが、そういう気持ちで頑張っていたいただきたいと思います。

#### 副市長

ありがとうございます。職員の間からもいろんな意見は、既に出てきておりまして、現在それを先ほども説明しましたワーキンググループを立ち上げて、分野ごとにみなさんの意見を吸い上げたいと思いますし、アンケートもそういう意味で市民の皆様からの意見を吸い上げるということなので、まず皆さんの提案なり意見がありきです。

ただ、無尽蔵に取り入れるのはさすがに厳しいところがありますので、先ほどからご意見を頂いておりますが、ある程度バランスを見ながら、決めていくことになろうかと思っております。とはいえ、市の体力に応じた、それぞれ皆さん方のお目にかなうものにできればいいなと思っております。

#### D委員

声を拾うってところでの一つのそのやり方として思っていたのが、魚津にはいろんな団体がございます。例えば商工会議所の中には青年部もあれば女性会もありますので、そういったところで、皆さんといろいろな情報共有しながら、いろいろな意見を吸い上げていく場だとすると、このアンケートも重要なものかもしれないけれど、そういうやり取りをする場も増やしていけるということも非常に重要ではないかなと私は思います。

本当に生の声を聞かれることも非常に重要だし、その中には必ずしも、賛成ばかりの意見ばかりではないのかもしれませんが、それはぜひやっていただいた方がいいと思っています。

それと、一つ基本的なことを確認申し上げておきたいと思います。

今回この検討委員会の位置づけですが、基本構想と基本計画を策定する、令和5年度と令和6年度が検討委員会の役割ですか？

**事務局**

そうです。

**D委員**

そういう意味で言えば基本計画っていうのは基本設計にかなり通じる部分があると思っていますけれど、その理解でよろしいですか？

実施設計は、まさにその基本設計に基づく実施設計になるので、この令和6年度で決まっていく内容そのものが将来の市庁舎そのものにつながっていくということだと思っています。

先ほど申し上げたとおり、情報についてはなるべく与えていただきたいと思います。与えていただくものが多ければ多いほど我々としては判断し、議論があると思っていますので、大事な庁舎の問題でありますから、ぜひ機会を増やしていただければいいと思います。

ぜひ若い人たちの意見の場、青年部、女性の皆様とか、ぜひお願いしたいと思っています。

いろいろな視点でいろいろな意見を持っておられる方がおられますので、ぜひよろしくお願いしたいと思います。

**G委員**

F委員から言われた意見は、まさしくそのとおりだなと聞いていましたし、皆さんが言われたことも私も思っていますので、よろしくお願いしたいと思います。

ふと思ったことは、先ほどアンケートで、性別を聞くのはどうかって言われる意見もありました。ですけども、何気に見ていて何でいつも男性が一番なのだろうか？ 回答しない、女性、男性という順番もありなのではないかと思いました。

自分がアンケートを作ることがあったとしたら、どうしたのだろうと思ったので発言しましたが、これは雑談です。

申し訳ないですけども、以上でございます。また何かしら参考にさせていただければと思います。

**委員長**

本日のまとめに入るわけですが、委員長としては、皆様のご発言のとおりというか、特にF委員やD委員が発言されました、よくよく事情がわかっている職員において市役所内での議論を進めていただきたい、且つ情報を開示していただきたいということに尽

きると思います。

有益な委員の方々の意見が交換され、お伺いすることができましたので、予定された時間、その他も含めて本日終了という方に進めさせていただきたいと思います。

それでは、事務局にお返しします。

#### 副市長

今日は大変、ご貴重なご意見を聞かせていただきましてありがとうございます。

今日のご意見を参考にスピーディーかつ的確に事業を進めていきたいと思ひますし、また皆様方にも今後、会議に数回出てきていただき、ご意見もいただくということでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

ありがとうございました。

#### 事務局

次回の会議についてですが、市民アンケート結果の取りまとめ後、11月ごろに開催させていただくことを想定しております。詳細な日程については別途調整させていただきます。

以上